

各位

上場会社名	池上通信機株式会社
代表者	代表取締役社長 清森 洋祐
(コード番号)	6771)
問合せ先責任者	取締役上席執行役員経理統括本部長 小原 信恒
(TEL)	03-5700-1121)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2018年11月1日開催の取締役会において、最近の業績の動向等を踏まえ、2018年5月10日に公表した第2四半期(累計)の連結、個別業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせします。

記

● 業績予想の修正について

2019年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2018年4月1日～2018年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	8,500	△1,000	△1,050	△1,100	△18.36
今回修正予想(B)	8,880	△210	△170	△180	△3.00
増減額(B-A)	380	790	880	920	
増減率(%)	4.5	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2018年3月期第2四半期)	8,926	△725	△723	△726	△12.17

2019年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(2018年4月1日～2018年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	7,500	△900	△900	△950	△15.85
今回修正予想(B)	7,820	△240	△160	△170	△2.83
増減額(B-A)	320	660	740	780	
増減率(%)	4.3	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2018年3月期第2四半期)	7,821	△704	△628	△593	△9.93

修正の理由

売上高においては、国内の放送市場におけるデジタルハイビジョン設備の更新需要が、引続き順調に推移したことを受けて、放送システム事業の売上増加の影響により、連結、個別ともに当初の予想を上回る見込みです。

損益面につきましては、売上高の増加、生産効率の改善、海外事業の採算性向上、および第3四半期以降に予定していた高利益率案件の売上が当第2四半期に前倒しとなったことに加え、販売費および一般管理費の抑制等により、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は、連結、個別ともに当初の予想から大幅に改善する見込みです。

なお、当第2四半期累計期間における業績は、期初の計画と比べ損益面で改善を見込んでいますが、通期の業績予想につきましては、来期へ向けての成長戦略、更なる技術力強化等への投資、また、今後の世界経済情勢における様々なリスク等を考慮し、現時点においては、連結、個別ともに前回公表の予想数値を変更していません。今後の業績動向等を見ながら、修正の必要性が生じた場合には、速やかに開示します。

注)上記の予想は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想値と異なる可能性があります。